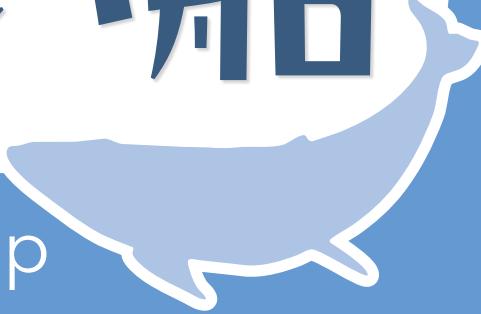


ほけい 命船



第100号 | 2026年
2月

基本
理念

私達は心のこもった
医療を行い、地域に
信頼される病院となる
ことを目指します。

独立行政法人
国立病院機構高知病院



【目次】



● つながりによって支え合う地域医療を目指して —スマートグリッドならぬ医療グリッド—	2
● 診療科紹介／婦人科	3
● 健康フェスタ2025を開催して	4
● 2025病院大忘年会	5
● クリスマス・ミニ演奏会	6
● 防災訓練を行いました！	6
● 療育指導室だより「令和7年度 クリスマス会」	7
● 感染管理室だより 「健康フェスタ 感染対策は手洗いから」	8
● 第79回国立病院総合医学会	9
・ベスト口演賞	
・ベストポスター賞	
● 看護学校だより	10
● 新任職員紹介	11
● 患者さん用図書室だより	11
● 国立病院機構高知病院 【公式】Instagram始めました！	11
● 外来診療担当医表	12



院長
先山 正二

つながりによって支え合う 地域医療を目指して

—スマートグリッドならぬ医療グリッド—

令和8年を迎えるにあたり、皆さまのご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。本年も、地域の皆さまに信頼され、安心して受診していただける医療の提供に努めてまいります。

今年の年明けは、国内では大きな災害もなく、比較的穏やかなものとなりました。一方、海外に目を向けてみると、米軍の攻撃によるベネズエラ大統領の拘束が報じられるなど、ウクライナやガザ、東アジア情勢を含め、融和や協調、共生とは程遠い、紛争や対立が目立つ状況が続いています。市井の一医療人である私にとりましても、先行きの見えない、不安定で漠然とした不安を覚えざるを得ません。

さて、地域医療を取り巻く環境は、少子高齢化や医療人材の不足、医療ニーズの多様化などにより、大きな転換期を迎えています。こうした中、すべての医療機関が同じ役割を担おうとするのではなく、それぞれの医療施設が自らの機能を明確にし、相互に連携しながら地域全体で患者さんを支える体制づくりが、これまで以上に重要となっています。

この考え方は、電力分野における「スマートグリッド」の仕組みに重ねて捉えることができます。スマートグリッドでは、大規模発電所だけに依存するのではなく、地域の中規模電源や家庭・施設単位の小規模な分散型電源までを含め、規模の異なる発電が一つの網としてつながっています。発電・送電・消費が一方向ではなく双方向につなが

り、各拠点が役割を分担することで、全体として安定した電力供給が実現されています。スマートグリッドが示しているのは、集約と分散を対立させない発想です。

地域医療も同様に、急性期、回復期、慢性期、在宅医療といった機能が適切に配置され、必要に応じて患者さんがスムーズに行き来できる「医療のネットワーク」が求められています。このバランスこそが、限られた資源の中でも医療という社会インフラを止めないための知恵だと言えるでしょう。

そのためには、各医療施設が自らの専門性や強みを磨き、「何ができるのか」「何を担うのか」を地域に向けて発信する、いわば機能の“見える化”が欠かせません。これは、電力使用量を可視化するスマートメーターと同じく、連携を円滑にし、無理や無駄を減らすための基盤となります。また、医療機関同士の情報共有や顔の見える関係づくりは、電力網を支える通信技術に相当する重要な要素です。

地域医療は、単独の医療機関だけで完結するものではありません。互いの機能を尊重し、連携することでこそ、限られた医療資源を最大限に活かし、患者さんにとって安心で持続可能な医療を提供することができます。私たちも、地域医療の一端を担う存在として自院の役割を改めて見つめ直し、地域全体の「医療グリッド」を支える一員であり続けたいと考えています。つながりによって支え合う医療の力を信じ、地域全体の安心に貢献し続けてまいります。

診療科紹介

婦人科

所属医師：(写真の前列左から) 滝川 雅也、木下 宏実

(写真の後列左から) 甲斐 由佳、山中 絵里佳、折橋 葉穂



外科系診療部長（婦人科医長）

木下 宏実

婦人科では生まれてから亡くなるまでの女性の一生に関わる病気を取り扱っています。産婦人科と聞くと“お産”的イメージがあるかと思われます。産科単独（周産期センターなど）婦人科単独（癌センターや不妊専門病院など）などの単科病院もありますが、ほとんどの病院は産科と婦人科をそれぞれ医師が兼任しながら診療にあたっています。当院の婦人科では子宮頸癌検診（ワーポン検診）から感染症、月経異常、更年期障害などの薬物療法や、手術が必要な子宮筋腫、卵巣囊腫、子宮頸がんなどの悪性疾患まで門戸を広く開けて診察しています。地域施設から救急疾患（子宮外妊娠や卵巣囊腫捻転など）についても積極的に受け入れています。また高知県で唯一ユースクリニック（旧：思春期外来）を開設しています。性暴力被害に対しても積極的に診察と支援活動を行っています。

診療体制は常勤医4名で診療していましたが、令和8年1月から専攻医が1名増員となり5名体制になりました。外来は婦人科と産科に別れた二診制で基本的に午前中は外来診療、午後は手術や病棟診療を中心に診療しています。

外来では子宮頸部異形成や子宮筋腫・卵巣囊腫、子宮脱などの管理、月経困難症や月経前緊張症や更年期障害に対

する薬物療法、がんなどの悪性疾患の管理や治療を行っています。産婦人科の総手術件数は令和6年381件、令和7年390件でした。その内の婦人科は令和6年は271件、令和7年は273件でした。手術療法は子宮筋腫や子宮脱に対して腹腔鏡・子宮鏡などの内視鏡下手術がメインとなっています。高知県でいち早く経腔的内視鏡下子宮摘出術（腹部に傷が残らない）を導入し、子宮脱に対して腹腔鏡下仙骨脛固定術や腹腔鏡下脛断端挙上術などの新しい術式も行っています。悪性疾患に対しては手術と抗がん剤治療を中心に行っていますが、すべての悪性疾患に対応することは人数的にも設備的にも困難ですので、症例に応じて高知大学や高知医療センターに紹介させて頂いています。また不妊症に関しては専門病院への受診を勧めています。

最後になりますが、患者さんの中には残念ながら妊娠・出産以外は受診しない方もおられます。まずは気になることがあれば一度受診してみて下さい。婦人科は女性にとって一生かかわりのある科です。長い人生ですのでかかりつけ医を見つけてうまく付き合い、しっかりと健康管理をして頂ければ幸いです。





庶務班長
西竹 敬樹

健康フェスタ2025を開催して.....

2025年11月15日（土）、コロナ禍で開催が中止していた健康フェスタが6年ぶりに開催されました。当日は、天候にも恵まれ、約150人の職員、学生にボランティアとして参加いただきました。

今回のテーマは「復活!! “来て” “見て” “知ろう” 自分のからだ、高知病院」です。6年ぶりという意味合いでの“復活”と、地域の皆様に自分のからだと高知病院のことをもっと知っていただこうという思いが込められたテーマです。また、「しんじょう君」が来てくれることになり、「くろしおくん」と一緒に会場を盛り上げてくれました。

オープニングは朝倉中学校吹奏楽部による演奏でした。オープニングに相応しい楽しい演奏で、職員をはじめ、入院中の患者さま、来場者もその音色に聞き入っていました。午後からは、よさこい演舞があり、「杉の子三園ちびっこ隊」（杉の子幼稚園つづじ組さくら組）、「上町よさこい鳴子連」、「空跳」の3チームに参加していただきました。可愛らしい演舞や迫力のある演舞で来場者を魅了していました。

センターステージ以外ではIn Body（体内バランス測

定）、乳幼児身体計測・手形足型プレゼント・妊婦体験・ベビー人形抱っこ体験、市民公開講座、肺機能・顕微鏡体験、調剤体験「お菓子で調剤体験」、手洗い体験、防災についての展示などの様々なブースを院内に設け、多くの来場者が足を運んでいました。院外では、パトカー、白バイ、消防車が展示され、子供から大人まで楽しそうに見学、試乗していました。

また、県内で人気のキッチンカーや特別支援学校からも出店していただき、多くの職員、来場者で賑わっていました。

エンディングでは高知学芸中学高等学校吹奏楽部の演奏があり、顧問の先生の軽快なトークと吹奏楽の軽やかな演奏で会場が一体となり、大盛況の内に終了を迎えました。

6年ぶりの健康フェスタで初めて参加する職員が多いため、手探り状態で準備して参りましたが、無事に終えることができ参加いただいたボランティアの方に感謝の気持ちでいっぱいです。

この健康フェスタを通して、地域の皆様に高知病院の事を少しでも知っていただければ幸いです。



Copyright © 須崎市 2013 1963

●●●●●2025病院大忘年会

忘年会実行委員会の松田です。

昨年、5年ぶりに開催された忘年会が今年も開催され、112名の参加を頂きました。

今年は今までと趣向の違う余興もいくつか披露されました。

昨年との変更点としては、多職種間での交流を深めるため、座席を自由席ではなく、くじ引きにより決定しました。会場限定の名札も用意し、初対面の方同士でもお互いの名前が分かるようにしました。

最初は緊張されている様子も見られましたが、歓談、余興の時間になると会場全体の盛り上がりもあり、緊張も徐々にほぐれたのではないかと思います。

また、普段あまり聞くことのない病院幹部職員の声を

多くの職員へ届けるために、余興と余興の間の時間で幹部職員へのインタビュー企画を実施いたしました。ありがたい言葉の一つ一つが参加した職員皆様の心に残っていると思います。

忘年会実行委員会は各部署から人員を募りました。今年は共通衣装を準備し、ほぼ全員で景品の買い出しにも行きました。幅広い年代(?)、多職種での買い物は新鮮な時間となり、実行委員の親睦も深まったかと思います。

最後に、ご参加頂いた皆様、特に余興を披露してくださった皆様、特別賞を用意してくださった幹部の皆様ありがとうございました。



実行委員
松田 大輝



看護部 副看護部長
宮部 恵子

クリスマス・ミニ演奏会

当院では、入院患者さん・来院者・職員が一緒になって季節感を味わい、楽しむことを目的に、毎年クリスマス・ミニ演奏会を実施しています。本年度は、12月15日、1階外来待合ホールを会場として、1時間開催致しました。

まずは準備！12月すぐに、待合ホールに大きなクリスマスツリーを飾り、ピアノを設置して飾りつけを行いました。色々な職種の方が集まり、皆でワイワイ言いながらの設置



はいつもの仕事と違って新鮮でした。ツリーのイルミネーションは暗いロビーを彩り、新人看護師作成の折り紙に

よる飾りが華を添えました。そして暗闇に時に流れるピアノの音色、そう、演奏者の練習…、頑張って下さいました。



そして本番当日、当院の助産師・小児科医師によるピアノ演奏、外科医師率いるバンドの方々により、順に演奏して頂きました。ホールには多くの患者さんが来て下さり、受診に来られた方や職員も立ち寄って頂きました。皆で手拍子、发声やマラカス持参での応援もあり、少し早いクリスマスでしたが、皆と一緒に楽しく過ごすことができたと思います。

来年もお楽しみに。



4階南病棟 副看護部長
畠中 麻里子

防災訓練を行いました！

当院では毎年地震発災を想定した防災訓練を行っています。今年度も12月4日に院内の様々な職種の職員が参

加し、『災害対策本部』と『トリアージ』の訓練を行いました。

災害時に病院が機能を果たしていく上で最も重要なのが、『災害対策本部』が一早く立ち上ることがです。



病院長が本部長となり、各部門でライフラインや被害を受けた設備の確認、負傷者や患者さんの状態確認を行い、どのような対応が必要かを検討しました。

訓練中、状況報告が次々と届くため、情報の整理を行うだけで手一杯となり、対策本部内では情報共有と同時に協力していく姿勢も大切であることがわかりました。



また、災害時には病院に多くの患者さんが来られることが想定され、限られた人員と資源で対応するためには、適切に『トリアージ』を行うこと必要となります。初めてトリアージに挑戦する職員も患者役の看護学生も真剣に取り組み、参加してよかったですという声が聞かれました。これからもトリアージを行える職員をどんどん増やしていきたいと思います。

当院は災害拠点病院であり、災害時に多くの地域の方々の支援を行う必要があります。訓練を行ってみて、上手くいかなかったこともありましたが、今回の訓練での課題について検討し、災害時にその役割を果たせるよう日々体制を整えていきたいと思います。



療育指導室 保育士
山本 香織

◆◆◆◆◆ 令和7年度 クリスマス会

令和7年12月9日から25日まで、今年もクリスマス会を重症心身障害児(者)病棟で実施しました。今年のテーマは「クリスマスマジックショー」。各病棟で、個性豊かなマジシャンたちがクリスマスにちなんだマジックを披露しました。利用者さんも参加し、一緒に魔法の言葉を唱えて楽しみました。マジックを行う中で出てきた鈴をリンリンと鳴らすとどこか遠くからも鈴の音が…！職員扮するサンタさんが、今年もプレゼントを届けにみんなの前へ登場。不思議なステッキで魔法をかけると居室に飾っていたクリスマスツリーの電飾が点灯していき、室内がキラキラと輝きだします。最後に2枚のパネルの大きなクリスマスツリーの電飾が光り、奥からみんなへのクリスマスプレゼントが現れました！幻想的な空

間と不思議な仕掛けに利用者さんにも笑顔がみられ、サンタさんとの触れ合いを楽しんだクリスマス会でした。

院長・看護部長サンタの訪問日には特別なサンタさんとの触れ合いを心待ちにしている人もおり質問コーナーを設けたりサンタさんにサインを求める人がいたりと盛り上りました。

また、12月10日には各病棟でクリスマスケーキを味わいました。見た目にも華やかなケーキに利用者さんも笑みが溢れ、普段よりもスプーンを口に運ぶスピードが速く、みなさん思い思いに味わっている様子でした。今年のクリスマス会も楽しい会となりました。





副看護師長
河村 ひとみ

感染管理室だより

健康フェスタ 感染対策は手洗いから

6年ぶりの開催となった11月15日の健康フェスタでは、今回も「手洗い体験」を実施しました。手に蛍光塗料を塗った後、石鹼と流水での手洗いを行い、その後ブラックライトにかざすと洗い残しの部分が光って見えるので、洗い残しを目で見て確認することができます。

今回は、親子や年配の方など幅広い年齢層の方、合計54名が参加してくれました。参加された方からは、「洗つたつもりでも全然爪にのこっちゅう」「子供が洗えているかどうかわかつてよかったです」などの感想を聞くことができました。就学前の年代の子供たちは丁寧に洗っているようであっても、洗い残しがたくさん見られていることが多く、保護者の方は「手洗いの練習をしようと思う」と話されていました。運営側として参加してくれた附属看護学校の学生にとっては、指導する経験ができよい学習の機会となりました。

病院内だけでなく、家庭や学校での日常的な感染対策と

して手洗いは大変重要です。指の間や爪の先、掌のしわなどに洗い残しが多いと言われています。しっかり石鹼を泡立てて、洗いにくい所は意識的に洗うことが大切です。

手をきれいにする方法は、流水と石鹼による手洗いの他にアルコール手指消毒薬がありますが、病原体によってはアルコールが効きにくいものがあるので注意が必要です。ノロウイルスはエンペローブという脂質性の膜を持たないため、アルコールが効きにくいです。クロストリディオイデス・ディフィシルは、アルコール存在下では「芽胞」という厚い殻を形成し、アルコールは効きません。どちらも、それらの病原体で汚染したままの手で接触をすることにより、汚染した手を介して感染が拡がりやすいと言われています。便や嘔吐物などを扱った後は、「アルコールが効かない病原体が手に付着しているかもしれない」と考えて、流水と石鹼でしっかり手を洗うことが伝播予防のために重要です。



Copyright ©須崎市 2013 1963

解剖慰靈祭を執り行って

令和7年11月21日(金)に、平成27年度より2年ごとに当院において、医学・医療への貢献のためにご自身の尊い身を捧げていただきました方々に対し感謝するとともに慰靈をするための慰靈祭を執り行いました。

本来であればご遺族にもご出席いただくべきところですが、新型コロナウイルス等の感染症拡大防止の観点から、令和3年度よりやむを得ず参列者を、当院幹部職員及び関係職員に限定した縮小開催としております。

病態の病理学的解明のため、病理解剖の意義をご理解いただき、ご許可を賜りましたご家族の皆様に心からお礼を申しあげますとともに深く敬意を表します。

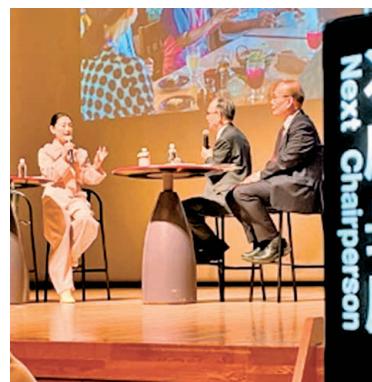


第79回国立病院総合医学会

ベスト口演賞

第79回国立病院総合医学会（2025年11月7～8日、金沢開催）において、ベスト口演賞をいただきました。昨年に続き2回目の受賞となります。

私は口演35（呼吸器疾患）で、「免疫療法（免疫チェックポイント阻害薬）を受けた非小細胞肺がん患者さんにおいて、治療後の末梢血好酸球（血液検査で分かる白血球の一種）



の増加が治療効果の指標（バイオマーカー）となり得るか」をテーマに発表しました。好酸球はアレルギーなどで知られる細胞ですが、近年、がんに対する免疫反応にも関わることが報告されています。

本研究の内容は、Thoracic Cancer (2024年、第15巻3号、248-257頁) にも報告しています。ご関心のある方はご参照ください。

最後に、本研究にご協力いただいた当院呼吸器内科の皆さん、臨床検査科の成瀬先生、ならびに徳島大学呼吸器・膠原病内科の皆さんをはじめ、関係するすべての方々に心より感謝申し上げます。今後も当院の臨床研究を一層推進し、診療の質の向上につなげてまいります。



臨床研究部長
竹内 栄治



ベストポスター賞

令和7年11月7、8日に金沢市で開催された国立総合医学会において「重心障害児を対象とする臨地実習において指導看護師が大切にしていること」というテーマで看護研究発を行いベストポスター賞を頂きました。

今回の研究は、私が学生指導をする中で感じていた「私の看護観だけで指導しているのか」という不安をきっかけに、附属看護学校の教員と一緒に実習指導に携わる看護師たち

が何を思い学生と向き合っているのかを明らかにするために取り組みました。研究を通し、指導に携わる看護師たちは私と同様に苦悩しながらも学生とともに患者の生活に向き合い、学生自ら思考を深められるように関わっていることが分かり、私自身の看護観・指導観も自分の芯として良いのだと確信することができました。さらに研究を進める中で看護師のみならず教員の学生に対する想いに触れることもでき、改めて臨床と看護学校との連携の必要性を感じました。

今回の貴重な経験を今後の学生指導や後輩育成にも繋げていきたいと思います。



看護師
谷田 美水



3年生は看護学生として集大成の時期です!!

★特別講演

看護学校 教員 谷内 典子

令和7年12月5日(金)、第79回国立病院総合医学会でポスター賞を受賞した谷田実習指導者さんが学生に口演形式で研究発表をして下さいました。既に実習は全て終了していますが、学生は指導者さんがどのような思いで実習中の自分たちの学びを大事にして関わってくださっていたかを実感し、発表後の意見交換会では学生自身の言葉で生き生きと感想や質問をしている姿が見られました。その様子に教員として嬉しい気持ちになるとともに、学生の成長を感じました。

～研究テーマ～

重症心身障害児(者)を対象とする臨地実習において指導看護師が大切にしていること

指導を受ける自分達の姿勢も大事!



全員で輪になって意見交換!



家族のような関わりをしていると思った



学生の質問に丁寧に応えてくれた指導者さん!



一緒に考えてくれる実習だった



心あたたまる有意義な時間になりました!

真剣に発表を聴いている学生たちの姿です!

★看護師国家試験激励会

看護学校 教員 露口 絵美

令和8年1月7日(水)、第115回看護師国家試験まで残すところ39日となったこの日、受験生に向けて、教職員一同で激励会を行いました。冬期休業明けの始業日でもあり、学生は久しぶりにクラスメイトと顔を合わせ、学生同士、笑顔で話をする姿も見られました。試験本番が近づき、緊張感や不安を感じる時期でもあります。クラス一丸となって、残りの日々を悔いなく、全力で学習に取り組んでもらいたいと思います。

今までの積み重ねを大切に最後まであきらめないでやっていこう!



馬力全開で頑張ろう!

教育主事からの激励!



教職員一同、国家試験に臨む学生を応援しています!



新任職員紹介

産婦人科専攻医の折橋 葍穂と申します。

大阪出身ですが高知大学入学以来、高知はもうすぐ10年目となります。高知医療センターに所属しており、この度1月から半年間高知病院で勉強させていただくことになりました。大学1年生の頃に週1回通っていた朝倉キャンパスに近く、懐かしい気持ちとともに、初心に返り背筋が伸びる思いです。

まだまだ未熟者ですが1人でも多くの女性を笑顔にできるように精一杯精進して参ります。

短い間ですが何卒よろしくお願ひいたします。



産婦人科専攻医師

折橋 葭穂

患者さん用図書室だより

<ご利用時間> 毎日9:00~16:00 (年末年始除く)

待ち時間対策
ワーキンググループ

[今月入庫した書籍]

はたらく動物病院

著者：吉田 亮人 写真 / 矢萩 多聞 著
出版：創元社

はたらく校長先生

著者：吉田 亮人 写真 / 矢萩 多聞 著
出版：創元社

はたらく鉄道員

著者：吉田 亮人 写真 / 矢萩 多聞 著
出版：創元社

はたらく庭師

著者：吉田 亮人 写真 / 矢萩 多聞 著
出版：創元社

旅の手帖 2026年1月号

出版：交通新聞社

ユニヴァースのこども

著者：中井 敦子・森岡 素直 著
出版：創元社

Hanako 2026年1月号

Hanako編集部 編
出版：マガジンハウス



国立病院機構高知病院【公式】



Instagram

.....始めた！



NHO_KOCHI.HOSP

高知病院の紹介や行事などを掲載しています。二次元コードからご覧ください。

…随時、掲載内容を追加中です

外来診療担当医表

■受付時間／8:15～11:00

■休診日／土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日

令和8年1月1日現在

診療科	区分・診察室番号			月	火	水	木	金
内科	午前	1 診	(8)・(11)	小松 直樹			篠原 勉(第1・第3週) 竹内 栄治(第2・第4週) ※第5週はありません	
		特別外来	(10)		岩原 義人(血液)	松森 昭憲(糖尿病)	岩原 義人(内科)	
	午後	専門外来	(6)			化学物質過敏症(予約制)		
神経内科			(10)	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1 診	(8)	岡野 義夫	竹内 栄治	畠山 暢生	竹内 栄治	門田 直樹
		2 診	(6) (12)		高橋 啓輝	石田 卓也	町田 久典	畠山 暢生
	午後	専門外来					禁煙外来 14:00～15:00(予約制)	
消化器内科	午前		(9)	林 広茂	池田 敬洋	高橋 早代	高橋 拓	池田 敬洋
循環器内科	午前		(7)	山崎 隆志	中岡 洋子(第1・3火曜) 笹岡 奈緒(第2・4火曜)		山崎 隆志	
			(6)					古川 敦子
	午後		(7)				ベースメーカー(第2木曜)	
リウマチ科			(10)	松森 昭憲				松森 昭憲
小児科	午前	1 診	(1)	大石 尚文		小林 希	小倉 英郎 (アレルギー・化学物質)	大石 尚文
		2 診	(2)	佐藤 哲也(第2・4月曜)	高橋 一平	佐藤 哲也	前田 明彦	高橋 芳夫
		3 診	(3)	高橋 一平	林 瑞之	小倉 由紀子(アレルギー)	第3週 医大医師(神経)	前田 明彦
		専門外来(予約制)	(2)	第1・3週 医大医師(神経)				
	午後	専門外来(予約制)		大石 尚文	小倉 由紀子 (アレルギー)	佐藤 哲也 (乳健・他)	小倉 英郎 (アレルギー・化学物質)	大石 尚文 (乳健・他)
				小倉 由紀子 (アレルギー)	佐藤 哲也 (院外出生乳健・他)	高橋 芳夫 (乳健・未熟児)	小倉 由紀子(アレルギー)	前田 明彦 (乳健・他)
				第2・4週 医大医師(循環器)		林 瑞之(検診・予防接種)		
		予防接種		14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)
外消化器外科	午前		(5)・(6) 金(7)	東島 潤	福山 充俊 (クーポンがん検診) (乳腺外来)	福山 充俊	石川 大地 (クーポンがん検診)	金本 真美 (肝臓・胆道・膵臓外来)
呼吸器外科	午前		(8)		先山 正二		先山 正二	先山 正二(予約制)
			(7)		日野 弘之		日野 弘之	
	午後		(6)		南城 和正(予約制)		南城 和正	
乳腺科	午前		(5)	本田 純子 (クーポンがん検診)		本田 純子 (クーポンがん検診)		
	午後		(5)					本田 純子 受付15:30まで(クーポンがん検診)
緩和ケア内科 乳腺科	午前		(5)					小河 真帆 (予約制)
整形外科	午前		(1)	福田 昇司(予約制)	和田 純幸(手術日休診)	加納 将嗣	福田 昇司(予約制)	大田 耕平
			(2)				溝渕 周平	
	午後		(2)				田村 竜也(予約制)	
脳神経外科	午前	1 診	(8)			非常勤 診察時間 9:00～11:00(予約制) 予約外の方はお問い合わせ下さい		
	午後		(8)					非常勤 受付16:00まで
皮膚科 【全曜日予約制】	午前		(13) (12)			高知大学医師		高知大学医師
	午前	1 診	(9)	大河内 寿夫	石黒 基純	大河内 寿夫		
泌尿器科	午前	2 診	(8)					石黒 基純 診察開始 10:00～
	午前		(35)	滝川 稔也	滝川 稔也	山中 純里加 1ヶ月検診	折橋 莉穂	木下 宏実
産科	午前		(31)	木下 宏実(クーポンがん検診)	甲斐 由佳(クーポンがん検診)	木下 宏実(クーポンがん検診)	滝川 稔也(クーポンがん検診)	山中 純里加(クーポンがん検診)
	午後		(31)					折橋 莉穂 13:00～15:30 ユースクリニック(予約制)
婦人科	午前		(23)	戸田 祐子	戸田 祐子(予約制)	戸田 祐子	戸田 祐子(予約制)	戸田 祐子
眼鏡科	午前		(16)	福田 潤弥 福原 史拓	福田 潤弥 福原 史拓	福田 潤弥 福原 史拓	福田 潤弥 福原 史拓	福田 潤弥 福原 史拓
耳鼻咽喉科	午前				高知大学医師			高知大学医師
放射線科								

※市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日 外科外来／乳腺科外来にて行っています。診察も希望される場合は事前に外来までお問い合わせください。

※当日の受付は午前11:00までとなっております。



独立行政法人
国立病院機構 高知病院

院内広報誌 ほげい船 第100号

●発行日／2026年2月 ●編集／独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会

●代表／先山正二 ●住所／〒780-8077 高知市朝倉西町1丁目2番25号

TEL (088) 844-3111/FAX (088) 843-6385/https://kochi.hosp.go.jp/



高知病院の
シンボルマーク



ホームページ



Instagram